

『雪対策功労賞』受賞

くりこま高原雪っこ大会

宮城県

当地は、栗駒山の裾野に位置した過疎地域で、冬になると人々は街へ“遊”を求めております。、現実的に過疎化、高齢化が進み、若者達が山間地域ということで閉鎖的な考え方が根強く元気のない、人・地域となってしまうことの危惧から、過疎化に拍車がかかる危機感を持ち、『自分たちの地域は自分でつくる』を合言葉として『文字を語るべっちゃんの会』を結成しました。

若者達が、地域を誇りと言える、元気にしたい最初の取組みの「文字神輿」で、町の山車祭りや各地の“まつり”に参加するようになり、更に、地区内に冬期閉鎖する町営牧場180<sup>ヘクタール</sup>の広大に眠る雪原を目覚めさせ、自然を活用した肩の凝らない、白一面の大雪原のなかで、大人も子どもも無邪気に雪と戯れる、“くりこま高原雪っこランド”をオープンしました。



実施機関：  
文字を語るべっちゃんの会